

実践発表、講演、公開座談会参加者アンケート（抜粋）

<p>「深い学び」と「主体的」「対話的」という全体像がより明確になり、とてもすっきりと整理することができました。自分の学校でももっと目的を意識した授業づくり、児童の実態や反応を考えた授業づくりを進めたいと思います。教育の質を高めるためには「統一」と「共有」だと感じます。よい実践に限らず、自分たちの実践を合わせ、学び続けることが子どもたちへの充実した学びにつながるのだと感じました。一日を通して本当によい学びを得ることができました。ありがとうございました。（県外小学校教諭）</p>
<p>大仙市が小・中・高と連携しながら教育を進めていることがよく分かりました。このような取り組みを目標に、自分の学校や地域でも取り組んでいけるといいなと思いました。講演は、「深い学び」の部分が中心の話で、難しい内容を具体例を出しながら説明していただき、分かりやすかったです。指導案の目標の書き方、今後取り入れたいと思いました。一度秋田の子どもたちや先生方の様子を見たかったので、とてもよかったです。教育への熱心な思いを十分に感じられました。家庭学習ノートの取り組みなども含めて、自分の指導に生かしていきたいと思います。（県外小学校教諭）</p>
<p>授業参観で感じたことを整理して捉え直すことができました。「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善のためには、教師サイドの取組（技術の習得、視点の変換など）の他に子どもを育てることが必須だと思っていましたが、秋田県（大仙市）の子ども相互の授業参観によって、子どもたちの学び方が育つという実践をお聞きして、すぐにでも実践してみたいと思いました。また、教師も子どもも揃って育つという視点も大切だと改めて感じました。運営の皆様、授業者の皆様、大変濃い一日をありがとうございました。（県外教育委員会関係者）</p>
<p>澤井先生のお話が大変勉強になりました。本でしか読んだことがありませんでしたが、つながりました。他教科でしたが、参考になるというか、すべてつながっていると再実感しました。自分なりにかみ砕き、現場の切実感、困り感に迫れるようなものを届けていきたいと思います。パネルディスカッションでは、本県の教育を根本から見つめ直してみたいと強く思いました。（県外教育委員会関係者）</p>
<p>澤井先生の講演を初めて聞きました。簡略で分かりやすく、具体例がたくさんあり、大変勉強になりました。また、お話を聞きたいと思いました。本日の準備、運営は大変素晴らしかったです。一日ありがとうございました。（県外教育委員会関係者）</p>
<p>秋田の学力向上フォーラムは、毎年参加しています。どの授業も素晴らしく、子どもの姿も生き生きとしていた。資料も参考になるものばかりでした。（県外小学校教頭）</p>
<p>澤井先生のお話は具体的で本質的でした。「深い学び」がメイドインジャパンと聞いて目からうろこでした。公開座談会においては、いろいろな立場からの提言は大変参考になりました。自校の実践につなげたいと思います。（県外中学校教頭）</p>
<p>秋田県、大仙市の教育に対する取組が聞けて、うれしく思います。今日見た授業は、このような取組の基にできているのかと、改めて教育に対する気持ちを新たにすることができました。私も子どもたちの応援団になるために、青森に帰って、子どもたちのことを思い、研鑽に励みたいなと思いました。今日は、本当にありがとうございました。（県外中学校教諭）</p>
<p>主体的・対話的な学びというのは、まず目標ありきであること、単元を見通してどこかに位置付けていくということ、生徒それぞれの考えをまとめるノート、生徒の言葉からまとめるなどの学び方であると感じました。また、秋田の探究型授業が校種の枠を越えて一致しているため、児童・生徒が違和感なく学んでいるということを知り、</p>

感心いたしました。(県外中学校教諭)

「見方・考え方」の捉え、「主体的・対話的で深い学び」に向かうためのポイントについて、多くの知見を得ることができました。大仙市、秋田県の授業改善の取り組みについて、岩手県でも同様に取り組んでいるものも多くあるが、その質を高めるための視点として、①広く共有し、徹底して取り組むこと②“子どもの姿”に重点を置いた取り組みを展開していることを学ばせていただいた。また、教師集団が学び続けること、チーム学校としての組織力も今回のフォーラムから学ばせていただいた。(県外教育委員会関係者)

近隣県でありながら圧倒的な学力差のある秋田県の実践授業から午後の時間まで、多くのことを学ぶことができました。大変ありがとうございました。今後ともご指導いただきたいと思います。準備から本日までお疲れ様でした。ありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

講演、公開座談会から新学習指導要領のポイントについて学ぶことができました。「主体的・対話的・深い学び」「見方・考え方」とさまざまなキーワードがある中で、どんなところがポイントになり、どこを拠り所に考えていけばよいのか、学ぶことができました。隣県であり、本県ではどんなことができそうか、何を大切にこれから取り組んでいけばよいか、刺激を受けた一日になりました。4年間、教育について学んだ秋田の地で、また「深い学び」ができたことをとてもうれしく思います。ありがとうございました。(県外小学校教諭)

秋田県の子どもたちの学力が高い背景をたくさん知ることができました。授業の質が高く、生徒の発表の仕方、あいさつ、とても立派だと感じています。このフォーラムに参加して3年目になりますが、来年も参加したいと考えています。ありがとうございました。(県外中学校主幹教諭)

本日はありがとうございました。大仙市が小・中・高の学校間や地域との結び付きが強く、子どもの学力の向上のために一体となり、力を入れているところがとても印象的でした。午前中は秋田の探究型授業を二つも参観させてもらい、勉強になりました。小・中・高で同じ探究型授業で揃えることによって、子どもたちの困り感もなく、スムーズに学年や学校が変わっても入れるのだと思いました。午後の講演では、新学習指導要領が求める授業改善の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員がどう授業をつくっていけばいいかをイメージすることができました。ありがとうございました。(県外大学生)

澤井先生のお話、大変勉強になりました。(特に、「主体的」と「対話的」をどう見て、どう考えるかについて)宮城も若手を育ててはいけない状況にあります。ベテラン(意欲と技能のある)を大切にしながらも、「速やかならんことを欲すれば則ち達せず」の思いを忘れず、頑張っていかなければと強く思います。(県外教育委員会関係者)

学力とはいうけれど、秋田の子は、学習もさる事ながら、いつも魅力的に映ります。素敵な子を育てる先生たちの仕掛けを少しでも自分の糧にしたいと思います。(県外小学校教諭)

講演では、新学習指導要領で見ておくポイントを教えていただきました。私は今年度採用されたので、学習指導要領を見ても抽象的なイメージしかできませんでした。ですが、今回、中教審答申や実践例を教えていただいたので、新学習指導要領の実施についてより具体的にイメージすることができました。大事なものは「単元を構成する力」だと感じました。授業の参観、講演を通して、単元ごとの教材研究を行い、「どの活動を通して、何を身に付けるのか」を明確にしておくことの重要性を実感しました。授業の継承については、若手教員という視点から聴講させていただきました。私は、積極的に他の先生から学ぼうと思いました。本日は大変充実した研修会になりました。

ありがとうございました。(県外小学校教諭)

秋田の探究型授業の充実，秋田の学力の高さの一端を垣間見た気がします。澤井先生の講演や公開座談会での話も，もっと聴いてみたかったと思いました。本日はありがとうございました。(県外小学校教諭)

さまざまな取り組みの紹介がありましたが，自分の地域や学校でもやっていることが多かった。しかし，その取り組みの一つ一つの質が高く，関わる人全員が高い意欲で共通行動していることの素晴らしさを感じました。(県外小学校教諭)

講演では新学習指導要領を紐解きながら午前中の授業と関連させてお話していただき，明日からの授業に対する意識を変えることができました。秋田の学力が高いのは，方法が優れているのはもちろん，先生方一人一人の学ぶ意欲が高いことが最も大きな要因なのだと感じました。新たな実践，試行錯誤をしていくためには，同僚性が欠かせません。今回の学びを共有し，共に学んでいきたいと思えます。(県外小学校教諭)

<実践発表>小・中連携による教育活動が継続して行われていることが大変参考になりました。過疎化，少子化が進む中，ふるさとを愛する心を育てていると思えました。<講演>①見方・考え方を働かせるとはどういうことか。②単元づくり。③問いをどのように子どもに届けるか。④まとめをどのようにするか。たくさんの方のことを講演してくださりました。もう一度メモを見ながら，自分なりに整理して授業づくりに役立てていきたいと思えました。

駐車場の御案内，シャトルバスの運行，校内掲示物，県外からの参加者への配慮，座席の指定など，おもてなしの心遣いがよく伝わる研修会でした。ありがとうございました。(県外中学校教諭)

講演では，単元の終わりに児童に身に付けさせたい力は何かを考えるとき，課題の順序や内容を教科の特性に合わせて単元を構成することの大切さを学んだ。公開座談会では，秋田の探究型授業の具体的な取り組みを知ることができた。特に子どもの相互参観を行っているという実践が，子ども自らが必要なことを学ぶ機会としていい取り組みだと思った。小学校と中学校の型がきちんと確立されている。だから，小・中の差が少ない。学力向上フォーラムのキーワード“つながる”の根幹がここにあると思った。(県外小学校教諭)

他県から参加し，学力向上フォーラムを通して，秋田県の学力が向上していることが分かりました。指導者の資質が向上していることで，子どもたちの学力が高くなっていると思えました。このような全県での取り組みは，素晴らしいことだと思います。そして準備された大曲小学校，大仙市教育委員会の皆様，大変お世話になりました。ありがとうございました。(県外小学校教諭)

全職員が目目の前の子どもたちの成長を切に願い，日々研究されていることが，各教科，研究概要から強く感じることができました。徹底の大切さを目の当たりにし，自分の県にも生かしていかなければ学力向上は目指せないと痛感しました。本研修会での学びを現場の先生方に還元したいと思います。大変有意義な機会をありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

市単位での取組が徹底しているので，一貫した学習ができる。秋田県の各市で行われているということなので，子どもたちの学ぶ姿勢は変わらず，変えずに(?)安心して学ぶことができる。とても学びに向かいやすい環境を整えられていると思えました。秋田県の学力の高さの秘密を学び，とても勉強になりました。(県外小学校教諭)

具体的な事例をたくさん紹介していただきました。学力ももちろんですが，人を育てている取り組みが素晴らしいと思えました。少しでも近付けるように小さなことから実践していきたいと思えます。(県外小学校教諭)

講演会，大変おもしろかったです。教科の見方・考え方をどう捉えるのかがよく分かりました。（県外中学校教諭）
「子どもの姿が授業の真実」。なぜ「主体的・対話的な学び」を取り入れるのか、「深い学び」とは何か，すべては子どもの姿にあります。子どもにハンドルをもたせられる授業を増やしていければと思います。（県外教育委員会関係者）
<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学び」や「見方・考え方」の正しい捉え方がよく分かりました。 ・秋田県内，大仙市内でどのような取組が行われているのか，行政レベル，学校レベルの両方でよく分かりました。（県外教育委員会関係者）
小・中・地域が連携し，地域活性化に向けて活動する中で，元気に探究する姿が見られることが分かった。児童生徒が自己のやってきたこと，考えたことに対して，自信や肯定感が高められていると感じた。その気持ちが授業や学校生活でも生き，学力にもつながっていると思った。「深い学び」・・・やはり難しいと感じる。ただ，講演の話から各教科等における「見方・考え方」を教師が明確にし，働かせたり，子どもに課題をもたせたりすること，目標をしっかりと捉え，それに向けた学習していく中で深まっていくのだと感じた。子どもの考えのプロセス，過程を大切に，そこから授業を展開させたり，子どもの言葉を使ったりすることが主体的な学びのある授業である。授業を子どもとつくりあげるには，発問が大切だと改めて感じた。（県外小学校教諭）
講演会では，実践をもとに「主体的・対話的で深い学び」についてのポイントや陥りやすい点など，とても参考になりました。座談会では，さまざまな実践を紹介していただき，大変参考になりました。「充実と継承」は，本町でも課題となっております。若手，ベテラン問わず，常に研修し，高め合い，学び合い続ける教員を育成するための手立てを検討していきたいと思います。案内など，さまざまな面でご配慮いただき，充実した研修となりました。ありがとうございました。（県外教育委員会関係者）
澤井先生のご講演では，児童の言葉で考えさせ，結論を出させることの意味，目的について分かりやすく教えていただき，勉強になりました。各先生方による座談会では，大仙市の取組として子どもによる授業参観を行っていると同じ，とても興味深かったです。参観をする児童にも，明確に視点を示して参観させることは，授業を客観的に見ることで，学習の流れがよく分かり，やる気もアップすると思います。（県外小学校教諭）
今日の授業だけでなく，授業の様子をDVDなどにまとめて参考にさせてほしい。学力が高いのは，教師の指導力であることを痛感した。（県外教育委員会関係者）
秋田県の具体的な実践の話それぞれのお立場から聞かせていただき，大変参考になりました。澤井先生の理論的なお話も秋田県の実践とつながり，その価値がとてもよく分かりました。ありがとうございました。（県外教育委員会関係者）
<p>○講演について</p> <p>「見方・考え方」，本日の指導案で具体的に分析されている内容がより鮮明に理解でき，その実践の質の高さが講演で裏付けされた感がある。深い学びの実現をいかにしていくかベキか，整理できた。若手教員に対する指導のポイントが私自身，理解できた。</p> <p>○公開座談会</p> <p>足立区はまさに毎年200名ほどの新採教諭が入ってくる。しかも，教師としての基本的な指導の在り方，授業の在り方をまったくといっていいほど，“知らない” “学んでいない” 人材の割合が大きくなっており，人材育成や教師力の育成が大きな課題である。秋田県を参考に教員の意識改革を図りたい。今回の受け入れに感謝しています。（県外教育委員会関係者）</p>

澤井先生の講演内容が特に分かりやすく、すぐに活用できるものがたくさんあった。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導案作成、授業展開など、具体的に示していただき、ありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

子どもの言葉を引き出し、その言葉で授業を展開する。そして、子どもの言葉で学習を振り返り、まとめをすることに大切さを午前中の授業実践と重ねて学ぶことができました。ありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

講演は、とても具体的で分かりやすく、明日から使える素晴らしい内容でした。ありがとうございました。公開座談会は、秋田県の取組、「探究型授業」の充実と継承の具体的な内容を知ることができた。また、若手教員の育成についても知ることができた。(県外教育委員会関係者)

澤井先生のお話では、失敗例を多く示していただけたことがありがたかったです。改めて授業づくりの難しさ、奥深さを感じました。足立区のために最前列をご準備いただき、ありがとうございました。心より今回の訪問、参加について感謝申し上げます。(県外小学校校長)

全校のみならず、全市をあげて大仙教育メソッドに沿った授業が行われていることが学力向上につながっていると思う。もっと多くの授業を見て学ばせていただきたい。公開座談会で、県としての取組の厚さを紹介していただき、とても勉強になった。育成方針、校内研で若手に指導技術を引き継ぐなど若手育成へ生かしていきたい。(県外小学校副校長)

実践発表では、小中だけでなく、地域ともしっかりと連携しているのを知りました。講演では、教師目線と児童目線には差があるので、しっかりと児童目線に立って、課題→活動→まとめまでを考えなくてはならないのだと改めて思いました。公開座談会では、小学校と中学校の段差が少ないことや年間で必ず1回は研究授業をやるなど継承していく方法について分かりました。(県外小学校主任教諭)

「主体的・対話的で深い学び」が具体化され、学校経営や各教科指導におけるマネジメントに大いに役立つ講演会、実践発表であったと思います。公開座談会では、さまざまな立場の人たちの考え方や人材育成に関する話を伺うことで、自校の課題解決へのヒントとなる内容だったと思います。特に若手教員の育成や指導力の継承については、すぐに実践できるものは可能な限り取り入れていきたいと思います。(県外中学校校長)

2時間とも「前時の課題の確認」から入り、本時の学習課題を作成し、個人で考え、班で考え、机を後ろに移し、全体で考えた後にノートにまとめを書き、最後に振り返りカードに記入という流れがしっかりとできていた。中1の授業と中3の授業とで、できていることに感動した。参加生徒全員が顔を上げ、考える、学習する姿に感動した。(県外中学校校長)

講演会では、各教科の「見方・考え方」を「深い学び」につなげること、「主体的な学び」では、問いが子どもに届いているか、「対話的な学び」ではミッションが分かっているか、まとめは自分の言葉で考えているか、できない場合は教師とのやりとりでまとめに向かっているか等、ポイントとなる話が聞け、よく分かりました。公開座談会では、秋田(大仙市)の探究型授業の具体的な実践と継承について、とても分かりやすかったです。学級づくり、体験活動、地域の人材活用、若手教員の力を取り入れることが学力向上につながるということがよく分かりました。大仙市の生徒の笑顔こそ答えがそこにあると感じました。(県外中学校副校長)

生徒の育成のために、さまざまな教育課題があるが、教師が生徒に目標を示す際に、しっかりと単元の目標を分析する必要がある。また、教師が中心ではなく、生徒に考えをもたせ、それぞれがまとめる力を付けさせることが大切だと感じた。また、○か

×かではなく、思考のプロセスをしっかりと可視化して評価していく必要があると感じた。(県外中学校教諭)

澤井先生のお話は、とても明確で、モヤモヤしているものが少しスッキリした感じでした。授業の見直しをより具体的に進めていく必要性を実感しました。「秋田の探究型授業」を本校でも取り組んでいます。徹底できていない面があります。授業で勝負できるように頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。申込み期限を過ぎましたが、参加できるように調整いただきました。ありがとうございました。(県外中学校校長)

澤井先生がとても具体的に新学習指導要領を見据えた授業づくりについて教えてください、大変参考になった。また、中学校区でビジョンを揃えて取り組まれていることで、一貫した指導、育ちを支えることができると感じた。大曲小学校の職員室前にも中学校区の先生方の写真が掲示してあった。このような縦と横のつながりを大切にしていきたい。今回のように土曜日に1日日程でフォーラムを開いていただけると参加しやすいです。(金・土の2日間にわたると、なかなか現場を離れられない・・・)いろいろな準備、当日の仕事などありがとうございました。とてもよい学びができました。(県外小学校教諭)

国語王国の秋田に一度来たいという念願が叶いました。期待どおりでした。家庭学習の仕方を知りたいと思います。自己有用感が高い秘訣も知りたいと思いました。シャトルバスや案内などスムーズで、オール秋田の力を感じました。(県外小学校教頭)

混乱しないための運営面での配慮は感心するばかりでした。授業だけでなく、大変いい学びをいただきました。ここまでのご準備と研究推進に心より感謝申し上げます。明日の授業も見たい・・・と思うほど、たくさんのが学びました。ありがとうございました。秋田に、大仙市に來させていただいてよかったです。澤井先生のご講演、あっという間でした。難しいことを分かりやすくとはこういうことを言うのだなと内容はもちろんですが、話の仕方も感激するほどの学びがありました！(県外教育委員会関係者)

授業からの実践発表、講演と流れがつくられており、また、関連したりしていることで、大変分かりやすかったです。そして、学校、行政と組織的に取り組まれていることがよく分かりました。新学習指導要領全面実施に向けて、「見方・考え方」の部分も含めて、その捉え方など学ぶべきことが多い機会でした。本県に戻り、還元していきたいと思います。ありがとうございました。(県外小学校教諭)

講演では、主体的・対話的で深い学びについて、実際の授業の例をあげながら、分かりやすくお話していただきました。澤井先生のお話を伺って、「主体的・対話的で深い学び」の言葉にとらわれ、本来の「教科の目標を達成する」ということがおろそかになっていたのでは・・・と反省しました。子どもの姿をもとに、授業改善の視点を示していただき、大変分かりやすかったです。公開座談会では、「どの学校でも同じ授業」という言葉が印象に残りました。「授業の標準化」が本市の課題でもあります。市としてのビジョンを伝え、広めていく大切さを改めて感じました。書ききれませんが、多くのものを学ばせていただきました。細かな心遣いにも感動いたしました。ありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

秋田県全体、大仙市全体で子どもたちの学力向上に向けて先生方が共通認識をもって取り組まれている様子がよく伝わってきました。特に家庭学習の充実が子どもたちのノートから分かりました。澤井先生のご講演では、「主体的な学び」とは、「対話的な学び」とは、「深い学び」とはについて、先生の自問例をあげながら丁寧に説明してください、自分自身の理解(押さえ)がより深まりました。今後、自校に帰って伝達していきたいと思います。本日は貴重な研修、ありがとうございました。(県外小学校教頭)

後藤校長先生の話，興味深いものでした。私の市町でも取り入れたいものがたくさんありました。データが欲しいです！澤井先生のお話も分かりやすく，また，楽しく聴かせていただきました。メモをとったり，写メを撮ったりと忙しく，たくさんのお話を学ばせていただきました。たくさん聞き落とししてしまったように感じ，またお話を聞きたいという気持ちになりました。ありがとうございました。学校で還流報告させていただきます。公開座談会は話の内容を欲張りすぎたのでは・・・登壇者の伝えたいことが多すぎて，話の内容の横のつながりが薄いように感じました。聞いていて，場面や内容がコロコロ変わりすぎて疲れました。もっと柱をしっかりと決めて深める話だったらよかったな，心に残ったなと思います。県外者の優遇対応，ありがとうございます。（県外小学校教諭）

いずれも大変勉強になりました。すごくよかったです。大阪は学力について，とかくいろいろ課題があると言われていています。本市も同様です。でも今回一つ確信したことは，「取り組みを信念をもって，効果を信じて継続する大切さ」です。大阪には大阪のよさがあり，それに基づいた取組があります。ぜひそこに秋田のエッセンスを取り入れ，今後も頑張りたいです。また来年来たいと思います。ありがとうございました。（県外教育委員会関係者）

公開座談会については，県外から参加しましたので，さまざまな角度からお話を聞け，秋田県の取り組みの様子がよく分かりました。まったく同じようには大阪ではできないかもしれませんが，大切なことの根本は同じだと改めて思いました。ご講演の新学習指導要領の求めるポイントについては，大阪でも研修が数回ありましたが，まだはっきり見えてこない点も多いので，今日のお話を聞けて，大変参考になり，また今後の見通しが少しもてた気がします。お話いただいた皆様，どうもありがとうございました。（県外中学校首席）

昨年度の大館市に続き，参加しました。秋田の探究型授業のエッセンスを和歌山でも取り入れたく思っています。話し手を見たり，あいさつ，返事をしっかりしたり，反応したりと，当たり前のことが秋田の子，学校はできているなどいつも思います。実践発表では，太田中学校区の取り組みを教えてくださいました。あいさつ運動を中学生が出身小学校において行うということは，頭にありませんでした。取り入れていきたいと思えます。ホールエリアで教育活動に取り組むこと，私もやってみたいですね。講演では，澤井教授から新学習指導要領で求められている「見方・考え方」の解釈について教えてくださいました。これまで理解が今一つでしたので，明確にすることができました。ありがとうございました。（県外教育委員会関係者）

大仙教育メソッドの具体的な実践を知ることができた。「主体的・対話的で深い学び」と「資質・能力」の関係について，理解するための示唆を得た。大仙市の取組とその実態，先生方の意識などを知ることができた。今後の業務に生かしていきたい。ありがとうございました。（県外教育委員会関係者）

子どもたちが自分の考えを自信をもって発表できていること，そして先生だけでなく友達の話にも進んで反応し，興味をもって「聴く」ことができている姿がとても印象的でした。自分の県では，なかなか最後まで自信をもって発表したり，自分の考えをもつことが苦手だったりする子どもが多いように思います。今回のフォーラムで，子どもたちが主体的に学べるようにする方法や技をたくさん見せていただきました。帰って，できることから始めてみたいですね。本当に今日はありがとうございました。（県外小学校教諭）

講演を聞かせてもらい，これからの授業づくりをしていく中で，いくつかのポイントを教えてくださいました。特に，見方・考え方については，改めて考えさせられました。自分も今回聞かせていただいた内容と同じ方向性で授業づくりを頑張っていますが，もう一度自分の授業づくりを見直し，やり直してみようと思いました。（県外中学校教諭）

実践発表では、自分の勤務する中学校でも取り組んでいる内容も多くあったが、結果や現状の違いを考えてみることで、取組に対する教師の意識や働きを見直していかなければならないと感じた。講演では、教科・単元の目標をもっとしっかり踏まえた上でのカリキュラム・マネジメントの必要性や生徒の立場に立った授業の見直しなど、自分たちの授業の見直しの必要性を感じた。公開座談会では、特に共通実践の徹底とその成果を感じた。小・中一貫の取組みは行っているものの、これほどの共通実践ができていないので、学校ごとのギャップを感じており、こうした取組みを参考に見直しをしていきたいと感じた。(県外中学校教諭)

講演では、主体的・対話的で深い学び、それぞれについてどのように考えるのか、また「見方・考え方はプロセスだ」という言葉、単元でどう入れていくのかを考えることが大事という話は非常に参考になった。また、実践発表や公開座談会では、秋田県、また大仙市の教育の共通性、同僚性を知った。どの学校でもどの校種でも同じことをしているから大人も子どもも安心して学校にいれるのだと思った。子どもを見取り、今後も教育活動に励んでいきたい。ありがとうございました。(県外小学校教諭)

地域(校区)での人づくりが素晴らしいと思った。授業づくりにおいて正しいとかよいと思えるものがはっきりし、目指すところがあるのは、一つの業務改善になると感じた。学力上位の小中学生は、1年に体験活動をたくさんしている。そこを丁寧に扱うというお話、他県(足立区)との結び付き、相互により影響があるということ、よく分かりました。ありがとうございました。(県外小学校教諭)

学力を支えているのは、先生方の授業への熱意や子どもたちとの関わりを大切にする姿勢であると感じました。学校の様子や子どもたちの様子から、それがよく伝わってきました。準備に関わられた方々、授業された先生方、本当にありがとうございました。(県外中学校教諭)

熊本から来た甲斐がありました。ありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

実践発表では、家庭や地域の中で、子どもたちを育てるという風土や地域をよくするために、子どもたちが主体的に関わっていることがよく分かりました。講演では、「見方・考え方」の考え方や「主体的・対話的で深い学び」についてよく分かりました。公開座談会では、小・中の学びが揃っているという点がとても参考になった。相互参観の視点としては、毎回ポイントを一つにしぼって話し合いを行っており、また、子どもの相互参観も定期的に行っているところが参考になった。(県外教育委員会関係者)

「主体的・対話的で深い学び」を学習指導の過程にどのように落とし込むのかが具体的に理解できました。探究型授業の充実について、校種間の連携が重要であることを再認識できました。本県でも取り組んでいることに今回の学びを加えていきたいと思えます。大変勉強になりました。関係者の皆様、ありがとうございました。(県外教育委員会関係者)

実践発表では具体的な取組みが聞けて参考になりました。講演では、「主体的・対話的で深い学び」について、自分の中で整理できた。とても分かりやすい内容で、自分は数学なので、数学に置き換えるとどうなのかを考えていきたい。特に本時の目標が「〇〇を通して、〇〇できる」が分かりやすかった。また、「見方・考え方」についてもよく分かった。公開座談会では、秋田県の共通した具体的な取組が聞けて、参考になった。市で統一した授業構成ができていことはすごいと思うと同時に、子どもの学びがつながっていくと感じた。評価について、話題が出たので、そのことも知りたかった。教育専門監や足立区の話も参考になった。(県外教育委員会関係者)

澤井陽介先生のご講演は、大変勉強になりました。「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりについて具体的に示してくださり、即活動できる内容や視点、考え方がありました。大仙教育メソッドは、新しい取組を進めているのではなく、これまでも行われている地域にあるものをつなげていくことであり、それが今、実を結び始めてい

るとの話と、子どもたち、教師、地域の方々の優しさや教育に関わる姿につながって
いくと思いました。地道な取り組みが大曲の花火のように大きく、実を結んでいるよ
うに感じます。秋田の皆様、大仙市の皆様、ご尽力に敬意を表すとともに、今後とも
多くのことを学ばせていただければと願っています。大変収穫の多いフォーラムでし
た。ありがとうございます。お疲れさまです。(県外教育委員会関係者)

大仙教育メソッドに沿って、各学校がどのように取り組んでいるのかを知ることがで
きました。また、太田中学校の実践発表では、小・中、そして地域がどのように関わ
っているのか、具体的に話していただき、地域が一体となって子どもを育てようと
している思いを感じることができました。澤井先生のご講演では、本日の授業も交えな
がら具体例をあげてお話していただき、これからの授業のあり方や留意すべきこと
について理解することができました。大変有意義で充実した一日でした。ありがとうご
ざいました。(県外教育委員会関係者)

初めて秋田のフォーラムに参加しました。授業参観，講演，公開座談会のすべてが学
びになりました。秋田の人の優しさ，同僚性，すべてが素敵でした。(県外小学校教
育研究員)

子どもの学びが揃う，教師の指導が揃うところから子どもが学び方を考えていくとい
う新たな一歩，レベルアップを見据えた取組を一校だけでなく，市内，県内全体で取
り組む強みを感じた。学校だけでは難しい取組を輪を広げて取り組むことで助け合
い，つながり合うという大人の姿を先生方が率先しているように思いました。授業，フ
ォーラムに参加し，ますます子どもたちの可能性を感じるとともに，学級の子
どもたちに会いたくなりました。学びの多い時間をいただきました。ありがとうございました。
(県外小学校教諭)

行政で行っていること，学校で取り組んでいること，子どもが実際に行っていること
が繋がっている(言葉と言葉をつなぐ)のが見えて，素晴らしいと思いました。課
題のしぼり方，それに対しての具体的な取組がシンプルにしぼられていて，とても分
かりやすかったです。(県外小学校教諭)

秋田の探究型授業の取り組みを知ることができました。子どもたちの授業参観，素
敵ですね。学ぶ姿勢もしっかり心が前向きで，主体的に学習に取り組んでいるところ
も素晴らしいです。職場に実践内容を持ち帰り，参考にさせていただきます。ありが
うございました。(県外小学校教諭)

今野校長先生のお話，大変興味深く分かりやすかったです。公開座談会の内容がと
ても勉強になりました。秋田県の小中連携の細やかさに大変心を打たれました。児童
同士の授業参観については，自校でも提案し，取り入れていきたいと思
いました。(県外中学校教諭)

「見方・考え方はプロセスであり，評価すべきところではない」「4月当初の校内研
で授業・板書スタイルの確認(統一)」「家庭学習の充実」「小・中で子どもたちの学
び方が揃っている」など，多くのことを再確認し，学ぶことができました。秋田の探
究型授業をベテランの先生から若手の先生へ継承していこうという県の取組は，本
当にいいものだと思います。個に任せるのではなく，同僚性でみんなでやろうとい
う姿勢が素晴らしいと思いました。これを徹底していくことで，安定した学力につな
がるのだと感じました。(県外中学校教諭)

秋田県の共同研究における質の高さを改めて実感した。オール秋田で県内のすべての
子どもたちに向き合っているこの秋田県の教員の一人であることに改めて喜びと誇
りをもつことができました。運営された関係者の皆様，細やかな配慮は行き届いたフ
ォーラムでした。ここにもオール秋田を感じました。(県内教育委員会関係者)

実践発表，講演共に具体的で分かりやすく，本市の取組と重ねながら聞き，どのよう

に改善していくべきかを考える参考になりました。大仙市の各小・中学校が充実した縦や横のつながりの基に実践ができていることをうらやましく思いました。意欲的に取り組むための仕掛けがたくさんあり、勉強になりました。ありがとうございました。
(県内教育委員会関係者)

小・中を通した大仙教育メソッドは、とても参考になりました。他市町村でも実施されていると思いますが、ぜひ今後も充実していただき、全県に向け発信してほしいと思います。講演も勉強になりました。時間が短いため、どうしても足早になってしまい、もう少しゆっくり聞けたらよいと思います。講演の記録などがあれば、再度勉強したいと思いますので、機会があれば、よろしくお願いします。配慮等が行き渡っており、とてもスムーズな運営でした。ありがとうございました。勉強になりました。
(県内教育委員会関係者)

参観できなかった授業の学習指導案を見るだけでも、大仙市の先生方の研究の積み重ねと子どもの成長過程を読みとることができました。大変勉強になりました。ありがとうございました。(県内小学校校長)

講演では、「各教科等の特質に応じた見方・考え方」と「主体的・対話的で深い学び」が一授業や一単元の中でどのように生かされていけばよいのか、社会科の場面を生かしながらお話しください、参考になった。見方・考え方は、教師が意識していないと育たないし、使っても意味付けされないと思定着しない。このことも授業づくりのなかで忘れてはいけないことだと思った。(県内小学校教頭)

新学習指導要領の実施に向けて研修を進めていく上での方向付けをしていただけた気がします。授業改善の視点について、重要なヒントをいただきました。「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の考え方について、一歩前に進むことができました。ありがとうございました。(県内小学校教頭)

講演は「深い学び」「見方・考え方」について、大変分かりやすかったです。参考になりました。座談会では、いろいろな立場や視点からの取り組みの紹介や考えが述べられていて、大変参考になりました。これからの方向性や大切なことを確認できるよい機会となりました。ありがとうございました。(県内小学校教諭)

各中学校区で足並みを揃えた取組が進められていて、素晴らしいと思いました。「大仙教育メソッド」やデータの共有化など、どの学校のどの先生も同じように取り組める工夫がたくさんあり、感心させられました。澤井先生の講演では、実際の授業の様子を取り上げながら「主体的・対話的で深い学び」について説明していただき、とても分かりやすかったです。お天気もよく、朝の子どもたちのあいさつも、とてもさわやかで、気持ちのよい1日でした。ありがとうございました。(県内小学校教諭)

本日は大仙市の事例を紹介してもらいながら秋田の探究型授業を改めて振り返ることができた。本地域でも同様の取組をしており、秋田県全体が一つの方向に向かって同歩調でさまざまな活動を展開していることが大きな強みだと感じている。継承について、若い先生を育てていくことは大事だが、年齢に関係なく全職員が新たなことに挑戦し、共に学んでいくことができれば、自ずと若手も育つのではないかと思う。常にチームでみんなで高め合う関係性が大事だと考えさせられた。(県内小学校教諭)

澤井先生の講演がとても素晴らしかった！「主体的・対話的で深い学び」について整理できました。子どもの言葉を大切にして必要な言葉を教えていくことを実践したい。自分でも授業を楽しみたいと思いました。(教材研修をしっかりと行った上で)ありがとうございました！また澤井先生を呼んでほしいです。(県内小学校教諭)

大仙市にはたくさんの小・中学校があるにも関わらず、統一感のある取り組み、素晴らしいと思いました。公開座談会では、それぞれの立場から充実と継承についての取り組みを紹介していただき、大変参考になりました。本校でやっていることも多くあ

<p>りましたが、より効果的に生かしていくためにはどうしたらよいかを考えさせられました。(県内小学校教諭)</p>
<p>澤井先生の講演から「主体的・対話的で深い学び」の意味理解に唸るばかりでしたが、教科の目標を達成することを第一にという話があり、霧が晴れた思いです。言葉に踊らされることなく、明日からの実践をもう一度考え直したいと思います。秋田の取組を余すところなく紹介できたと思います。(県内小学校教諭)</p>
<p>大曲中学校の研究主任のお話も興味深かったです。澤井先生のお話がとても勉強になりました。澤井先生の「これからは、子どもがハンドルをもつ」という言葉を胸に頑張っていきたいと思います。子どもの反応が授業の真実。大事な言葉だと思いました。〇〇先生のお話のよさのスライドも大切にします。(県内小学校教諭)</p>
<p>講演での主体的・対話的な学びは子ども軸、深い学びは教師軸というお話に、とても納得しました。子どもたちの将来に生きて働く力を付けていくためにも、教材研究を深め、子どもの反応を見て授業改善していくことが大切だと思いました。「授業は子どもとの団体戦」という言葉が素敵だと思いました。(県内小学校教諭)</p>
<p>講演会において、社会科の例を基に、教科書どおりにそのまま教えるのではなく、単元の課題を設定し、それに向かって主体的・対話的で深い学びを行うことが大切であることが、ストンと落ちました。ありがとうございました。公開座談会では、秋田の探究型授業について、県内、県外の方々のお考えを聞くことができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。(県内小学校教諭)</p>
<p>新学習指導要領に示された授業改善を学び、実践していきたい。常に単元での学習を構成し、終末時に生徒がどのようになっているかを考えた上で取り組んでいきたい。現任校で学び、いずれまた大曲仙北に貢献できればと思います。本日はありがとうございました。(県内中学校教諭)</p>
<p>大仙教育メソッドについて、11の中学校区で育てたい資質・能力を明らかにして、具体的な共通実践事項の基に取り組んでいることがよく分かった。小・中連携が無理なく継続できるものになっていると感じた。講演では、特に「主体的な学び」の中で「課題は本当に子どもに届いているか」ということについて、ここが本当に授業を左右する大事なところだと改めて感じた。いかに子どもたちが“なせ?”と感じ、「対話的な学び」の活動の必要性を感じ、力を合わせる目的をもって活動しているか、ここが授業改善をしていく上で、自分たちが目を向けていかなくてはいけない視点だと思う。「深い学び」については、目標分析、教材研究の大切さを痛感した。まとめについても、子どもたちが自分たちの学びを自分たちで考えられるような手立てを工夫していきたい。多くのことを学ぶ一日になりました。ありがとうございました。(県内中学校教諭)</p>
<p>新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」「見方・考え方」など最近よく耳にするキーワードに対する理解が深まりました。各教科の特質を踏まえ「見方・考え方」を働かせながら「深い学び」を実現していくことは、これから生きる中学生が身に付けるべき資質・能力の育成と大きく関わっていくと思います。今日の全日程を通して、たくさんのお話を学ぶことができました。ありがとうございました。(県内中学校教諭)</p>
<p>澤井先生のご講演を聞き、授業を通してより具体的な改善について学ぶことができよかったです。特に、「主体的な学び」にかかわる内容は、今後の参考にしていきたいと思った。日頃の授業を振り返る機会になった。公開座談会では、大仙市のさまざまな取組について知る機会となった。これまで受け継がれてきた秋田の教育をより一層充実させ、継承していくことが大切であることを改めて実感した。(県内中学校教諭)</p>
<p>小・中学校での取組状況が非常によく分かった。高校での授業改善を進めていく上で、</p>

参考になることが多くあった。ありがとうございました。（県内高等学校校長）

ありがとうございました。実践発表，講演，公開座談会，すべてにおいて勉強させていただきました。特に講演では，「深い学び」を実現させるためには，目標をよく読むことが大切であることを学びました。澤井教授が指摘されたように，内容に重点を置いて学習指導要領を読んでいたなど反省したところです。再び，目標をよく読んでみます。また，単元づくりにおいて，どんな姿を目指すのかをしっかりと考え，組み立てていくことが大切だというお話がありました。この点においては，本校でも実践できているなど感じました。学担，教科担任だけでなく，第三者も入って単元構想，単元検討をしているので，この点については継続していこうと思います。一方で，評価が曖昧になってしまうという本校の課題があります。これは，裏返せば，目標設定が曖昧なのだと考えています。子どもたちの姿をしっかりと評価し，力を付けていけるようにするためにも，教師からの問いを吟味し，授業につなげていきたいと思っています。そうすることで，めあてや振り返り，学習展開までもが変わり，授業改善につながっていくと考えました。子どもの学びを深められるようにこれからも頑張っていこうと思います。（県内特別支援学校教諭）

澤井先生のお話で，教科の「見方・考え方」を学びのプロセス（学習活動）にしっかり落とし込んで授業を進めていくことを確認でき，資質・能力との違いが見えてきました。対話によってうまれた子どもたちの考えを全体で「広げる，つなげる」→「概念を形成する」というのが教師の役目であると思いました。たくさん貴重なお話を伺いました。ありがとうございました。（県内特別支援学校教諭）

実践発表では，大仙教育メソッドについて説明を聞き，大仙市が共通の考えのもと，中学校区ごとに地域の特色をプラスしながら行っていることがとても勉強になった。また，「主体的・対話的で深い学び」について，目標をしっかりと見て深く学ぶこと，単元の導入でしっかりと話題をつかませることについて，改めて考えることができた。子どもに「なぜ？」と思わせる単元・授業づくりを頑張っていきたいと思った。貴重な機会をありがとうございました。（県内中学校教諭）

改めて大曲仙北の充実した姿，秋田の教育を確認することができました。自校の教育活動に生かしたいと思います。（県内小学校校長）

実践発表の後藤校長先生の発表が分かりやすくてよかったです。講演，公開座談会でも参考になることがたくさんあり，勉強になりました。（県内小学校校長）

太田中の実践発表を参考にしながら，よりよい学校経営に役立てたい。澤井先生の分かりやすい講演がありがたかった。（振り返りやまとめは，子どもたちの発言など考えで表現することが大切など）公開座談会は，司会者を含め，4名の先生方の立場の違いからの考え方が分かり，大変よかった。（県内中学校校長）

新学習指導要領を前に感じている不安が解消された気がする。すべては教科・科目の目標を達成するためと考え，工夫していきたい。仕方ないことかもしれないが，小・中連携の強さはとても伝わってきますが，高校と義務教育の連携ももっと強くしていかなければならないと感じました。大きな課題だと思います。（県内高等学校教諭）

大仙市の授業スタイル等は，支援学校でも生かしていけるものがたくさんあると日頃から感じています。今後も情報交換，学びの場があれば，積極的に参加したいと感じました。（県内特別支援学校教諭）